

～教員おすすめ本～

No. 28

経済学部 経済学科

中井 大介



『一九八四年』

ジョージ・オーウェル 著
高橋和久 訳

【先生からのコメント】

イギリスの作家オーウェルによる、ディストピア小説の金字塔です。究極の監視社会が到来する未来を描いています。オリジナルは1949年ですが、新鮮さは全く失われていません。スターリンがモデルともいわれる「ビッグブラザー」や「二重思考」などのアイデアも絶妙です。訳文も読みやすく、特にSF小説に関心のある人におすすめします。



『孤独な散歩者の夢想』

ジャン=ジャック・ルソー 著
今野一雄 訳

【先生からのコメント】

フランス革命に影響を与えた思想家ルソーの絶筆です。ルソーは芸術的才能にも恵まれ、パリの社交界で活躍します（童謡「むすんでひらいて」は彼の作曲です）。しかし、絶対王政を批判し、迫害を受けることとなります。人間を好きであるという情念を捨てきれない彼の心境と、自然の美しさに魅了される純朴な彼の心境とが描写されています。

2019年5月10日

近畿大学中央図書館